

どう防ぐ?



ネットトラブル 10

今回はネットを利用する際の認証とパスワードについて。

ネット上で個人を識別する「認証」にIDとパスワードが要求される今の仕組みは1963年ごろから使われていて(マサチューセッツ工科大学CITS)、「いわば過去の技術」。

日ごろ見聞きする情報漏洩(ろうえい)のニュース。もちろん非は企業側にあるが、技術的な限界もあり、絶対的な安全は難しいのが現実。

しかも個人情報流出するだけでなく、金融系ならば預金が盗まれる危険性も。警察庁の201

5年資料によると、不正アクセスで口座から現金が勝手に引き出された額は全国で30億円。旅客機で座席から娯楽システム経由で制御システムを乗っ取ったり(ベンチャービート2015)、自動車を外部からエンジン止めたりする例も報道されている(ロイター2015)。

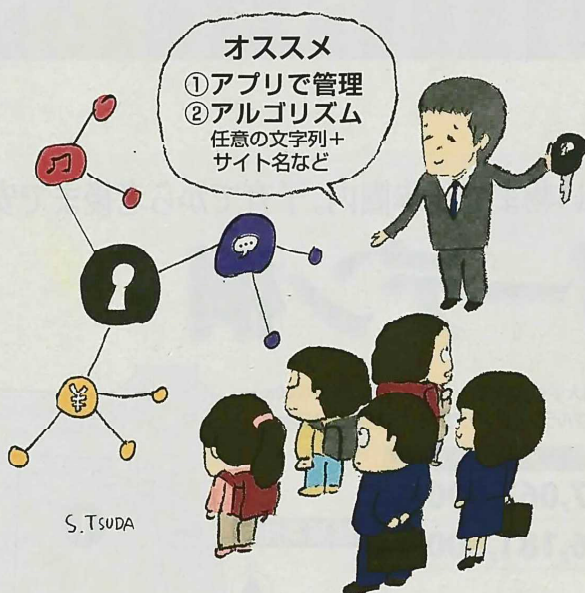
大切なのは「パスワードをきちんと管理すること。パスワードのつけ方において重要なのは、①他人が類推できないもの、英単語はできるだけ避け、長いもの、②サイトごとに異なるものをつけること」。

他人が類推できる誕生日や電話番号が入っている文字列と、共通のパスワードをいろいろに使い

回すのは厳禁。「そんなことは知っているけど、実際にはどうすればいいの?」「多くの文字列を正確

IDとパスワード

全ての鍵アプリなどで厳重に



S. TSUDA

に覚えることは無理」という方には、さらに以下の2つの解決方法がオススメ。

①パスワード管理アプリやブラウザの管理機能を使う。

②「アルゴリズム」でパスワードをつける。

PCでもスマホでも、パスワード管理のためのアプリが多数、無料で提供されている。これを使えばかなり安全性は上がる。

「でも別のアプリを使うのはちょっと」という方にお勧めなのが、②のアルゴリズム活用。

これは「文字列+サイト名」など自分で決めた構文のみ覚えておく方法で、例えば「任意の文字列

+サイト名」とした場合、任意の文字列「matsu390」としたとすると、ヤフー用ならば「matsu390+yahoo」となる。より強固にしたければ、文字列を前後で挟んだり、2回にするなど増やしていけば尚(なお)よい。

紙に書いておく方法も完全に忘れてしまつよりは良い。また「定期的に変更する」ことを勧める人もいるが、私はある程度強固なものを作ってしまったら、その必要性は薄いと考える。

とにかく、ネット上ではIDとパスワードは全てにおける鍵。工夫しながら厳重かつ個別に管理をし、情報や財産を守るしかない。